

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。すっかり春らしくなり、桜の花も咲き始めたこの良き日に、来賓として犬山市長 山田拓郎さま、犬山商工会議所会頭 高橋秀治さまにご臨席いただき、卒業式を挙行できることを大変うれしく思います。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、皆さんの大学生活を支えてくださった保護者の方々のご参席をお断りせざるを得なかったことを残念に思います。市邨学園名古屋経済大学は、本日、大学院博士課程 3 名、修士課程 29 名 学部学士課程 470 名、合計 502 名の修了生及び卒業生を送り出すことになりました。

卒業生の皆さん、改めてご卒業おめでとうございます。皆さんの大学生活はいかがだったでしょうか。最後の一年はリモート授業などで不自由をおかけし、申し訳なく思っています。しかし、あとになって思い返せば、懐かしい思い出になることと思います。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の年であるとともに、東日本大震災 10 周年の年でもあります。いずれも、未曾有の災害であるとか想定外の出来事だとしばしば言われますが、決してそうではありません。新型ウイルスのパンデミックでは、たとえば、1918 年から 20 年にかけて流行した「スペイン風邪」が思い出されます。その時は、世界で 5 億人以上が感染し、1 億人以上が死亡したと言われていました。また、三陸沖の津波を伴う巨大地震は、明治の時代にも江戸時代の宝永の年間にも記録があります。歴史に学ぶ姿勢が十分にあれば、想定範囲内の出来事ばかりであるはずですが。今回のパンデミックを前に、今後の人間社会の在り方がいかに変化していくかについて、さまざまに語られています。みなさんは、この変動激しい社会にとびだして、活躍をしていかなければなりません。経済のグローバル化と AI を中心とする科学技術の発達による現代社会の激動が、パンデミックを契機に、社会の在り方をどのように変えていくかを、よく見定める必要があります。評論家による無責任な予想に動揺することなく、変化する社会に柔軟に対応していただきたいと思います。今回のパンデミックを独自の観点から分析し、警告を発して注目を集めているイスラエルの歴史学者ハラリの『サピエンス全史』を読むことをお勧めします。この書を推薦するのは、私がこの内容を支持するからではなく、人類の歴史を語るのに、「ビッグバン」から説き始め、人類の始まりを類人猿の進化から説明するスケールの大きさを感じ取ってほしいからです。

これから起こるであろう激動は、直近では、各国がコロナ対策で採った大規模な財政出動の反動による不景気の到来が考えられます。脅かすようで申し訳ないのですが、GAF A に代表される巨大企業による世界市場支配がもたらした世界規模での貧困の拡大は、グローバルに拡大進化した市場経済の存続自体を危うくするかもしれません。^{*1}皆さんのこれからの長い人生の過程では、何が起こるかわかりません。皆さんは、それらの激動に臆することなく、果敢に立ち向かっていただきたいと思います。その時にハラリの歴史観のスケールは、皆さんに勇気とヒントを与えたいと思います。卒業は学びの終わりではありません。新たな学びの始まりです。卒業生の皆さん、社会に出て、学びながら大いに活躍をしてください。成功をお祈りいたします。あらためて、本日はご卒業おめでとうございました。

補足

* 1 近年の米国大統領トランプ氏の登場や英国のEU離脱、ヨーロッパ諸国におけるファシスト政党の台頭を見ると世界規模での貧困が既存の諸制度を破壊し、社会を激変させる可能性を感じざるを得ません。それらは決して想定外の出来事ではありません。現在当たり前のように存在する主権独立国家が併存する国際社会は、1648年のウェストファリア条約以降に成立したと言われていて、現在の人権思想は1789年のフランス革命を発端としていると言われていて、人類の長い歴史から見るとこれらは、ごくごく最近の出来事だと言わざるを得ません。しかも、民主主義はかつてギリシャの時代には衆愚政治として揶揄され、市場経済も忌まわしいものと考えられてきた歴史があります。したがって、市場経済の存続自体が危うくなることは、人類の歴史を振り返れば、決して想定できないことではありません。